

小山工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	地理・歴史	
科目基礎情報							
科目番号	0009			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気電子創造工学科			対象学年	1		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	歴史総合（東京書籍）、明解世界史図説エスカリエ（帝国書院）						
担当教員	長峰 博之						
到達目標							
1. 世界の資源・産業・人種・民族・宗教の多様性を理解する。 2. 世界の近現代史の流れを説明することができる。 3. 地理・歴史的思考力を養い、現代の社会を客観的・相対的にとらえることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	世界および日本の資源・産業・人種・民族・宗教の多様性を正確に理解することができる。			世界および日本の資源・産業・人種・民族・宗教の多様性を理解することができる。		世界および日本の資源・産業・人種・民族・宗教の多様性を理解できない。	
評価項目2	世界および日本の近現代史の流れを正しく説明することができる。			世界および日本の近現代史の流れを説明することができる。		世界および日本の近現代史の流れを説明することができない。	
評価項目3	地理・歴史的思考力を養い、正確に現代の社会を客観的・相対的にとらえることができる。			地理・歴史的思考力を養い、現代の社会を客観的・相対的にとらえることができる。		地理・歴史的思考力を養い、現代の社会を客観的・相対的にとらえることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ①							
教育方法等							
概要	正しい地理的・歴史的知識を習得し、地理・歴史的思考力を養い、社会を客観的・相対的にとらえる訓練をする。						
授業の進め方・方法	授業は配布プリントを中心に、おもに講義形式で行う。到達目標 1～3、前期後期それぞれに実施する中間試験及び定期試験（計4回）において60%以上の得点により達成とする。						
注意点	地理・歴史は暗記科目ではないが、必要な地理・歴史的知識は修得してほしい。ただし、知識を習得したうえで思考することが肝要である。試験においては、基本的な地理・歴史的知識を問うと同時に、地理・歴史的史思考力を問う問題を課す。また何よりも大切なことは、地理・歴史を楽しみながら学ぶことである。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス：地理・歴史とは何か		左記内容を理解する		
		2週	東アジアの文化・宗教①		左記内容を理解する		
		3週	東アジアの文化・宗教②		左記内容を理解する		
		4週	東南アジア、南アジアの文化・宗教		左記内容を理解する		
		5週	西アジアの文化・宗教①		左記内容を理解する		
		6週	西アジアの文化・宗教②		左記内容を理解する		
		7週	ヨーロッパの文化・宗教①				
		8週	前期中間試験		左記内容を理解する		
	2ndQ	9週	ヨーロッパの文化・宗教②		左記内容を理解する		
		10週	ヨーロッパの文化・宗教③		左記内容を理解する		
		11週	中華帝国の繁栄と東アジア		左記内容を理解する		
		12週	西アジアと南アジアの諸帝国		左記内容を理解する		
		13週	16世紀のヨーロッパ		左記内容を理解する		
		14週	主権国家体制と世界商業①		左記内容を理解する		
		15週	主権国家体制と世界商業②		左記内容を理解する		
		16週					
後期	3rdQ	1週	結びつく世界と日本の開国①		左記内容を理解する		
		2週	結びつく世界と日本の開国②		左記内容を理解する		
		3週	国民国家と明治維新①		左記内容を理解する		
		4週	国民国家と明治維新②		左記内容を理解する		
		5週	国民国家と明治維新③		左記内容を理解する		
		6週	第一次世界大戦と大衆社会①		左記内容を理解する		
		7週	第一次世界大戦と大衆社会②		左記内容を理解する		
		8週	後期中間試験				
	4thQ	9週	経済危機と第二次世界大戦①		左記内容を理解する		
		10週	経済危機と第二次世界大戦②		左記内容を理解する		
		11週	経済危機と第二次世界大戦③		左記内容を理解する		
		12週	冷戦と世界経済①		左記内容を理解する		
		13週	冷戦と世界経済②		左記内容を理解する		
		14週	世界秩序の変容と日本①		左記内容を理解する		

		15週	世界秩序の変容と日本②		左記内容を理解する		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的 分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。	3		
				民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3		
				近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3		
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3		
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3		
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3		
	工学基礎	グローバリゼーション・異文化多文化理解	グローバリゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	2		
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3		
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3		
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	1		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0